

分野（領域）	専門分野Ⅱ 【成人看護学】	科目名	成人看護学概論
単位（時間）	1（30時間）	開講時期	1年次 2年次 3年次
講師	外部講師		
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成人期の特性を理解することができる。</li> <li>2. 成人の健康に影響を及ぼす因子とは何かが理解することができる。</li> <li>3. 成人期における健康を保持・増進させるための保健活動について理解することができる。</li> <li>4. 成人期にある対象への各健康の段階の看護の目的と援助方法が理解できる。</li> </ol>		
<p>第1章 成人と生活</p> <p>A：対象の理解 大人になること B：対象の生活 働いて生活を営むこと</p> <p>第2章 生活と健康</p> <p>A：成人を取り巻く環境と生活からみた健康 B：生活と健康をまもりはぐくむシステム</p> <p>第3章 成人への看護アプローチの基本</p> <p>A：生活のなかで健康行動を生みはぐくむ援助 B：健康問題をもつ大人と看護師の人間関係 C：人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ D：チームアプローチ E：看護におけるマネジメント F：看護実践における倫理的判断 G：意思決定支援 H：家族支援</p> <p>第4章 ヘルスプロポーションと看護</p> <p>A：ヘルスプロポーションと看護 B：ヘルスプロポーションを促進する看護の場と活動</p> <p>第5章 健康を脅かす要因と看護</p> <p>A：健康バランスの要素 B：健康バランスに影響を及ぼす要因 C：生活行動がもたらす健康問題とその予防</p> <p>第6章 健康生活の急激な破綻から回復を促す看護</p> <p>A：健康の急激な破綻 B：急性期にある人の看護 C：救急医療を必要とする人々</p> <p>第7章 慢性病との共存を支える看護</p> <p>A：慢性病患者の理解 B：慢性病との共存を支える看護の実践</p> <p>第8章 障害がある人の生活とリハビリテーション</p> <p>A：障害がある人とリハビリテーション B：障害がある人とその生活を支援する看護</p> <p>第9章 人生の最期のときを支える看護</p> <p>A：人生の最期のときにおける医療の現状 B：人生の最期の時を過ごしている人の理解 C：人生の最期の時を支える看護</p> <p>第10章 学習者である患者への看護技術</p> <p>A：エンパワーメント-エデュケーション B：セルフマネジメントを推進する看護技術</p> <p>第11章 治療過程にある患者への看護技術</p> <p>A：治療による身体侵襲からの回復促進のための看護技術 B：安全を援助する看護技術 C：日常生活機能の保護・維持と社会復帰に向けた看護技術 D：ボディイメージの変化に対する看護技術 E：その人らしい日常生活再構築のための看護技術</p>		<p>第12章 症状マネジメントにおける看護技術</p> <p>A：症状マネジメントと看護 B：症状マネジメントと看護実践モデル C：症状マネジメントモデルから導かれた看護のアプローチ</p> <p>第13章 療養の場を移行する人々への看護技術</p> <p>A：療養の場の移行支援とはどのような活動か B：療養の場の移行支援が必要とされる理由 C：療養の場の移行支援の具体的方法</p> <p>第14章 新たな治療法、先端医療と看護</p> <p>A：新たな治療法・医療処置の開発・普及 B：新たな治療法・医療処置を受ける患者の看護</p>	
【テキスト／参考文献】			
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論			
【評価】			
学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			